

○学識者の意見

■「淡海の川づくり検討委員会」議事要旨

(平成 23 年 12 月 21 日 PM15:00~17:00) コラボしが

主な意見	回答要旨
○(時間的な実現性の観点からの評価)資料で 1/50、1/100 と書いてあるが、今後策定される安曇川の河川整備計画でどのような位置づけになるのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム検証の方針が決定した後、来年度になると思うが河川整備計画を策定する予定で、当面の整備目標は約 1/30 とする。残りの部分の対策(1/50~1/100)については参考資料という形で整理していきたい。
○7 つの評価軸や「地先の安全度」は、1/30を進めることを前提に評価しているが、(時間的な観点からの実現性)の説明では 1/50、1/100 の話が出てくる。その場合の評価はどうなっているのか。 ・1/50、1/100 の評価は将来に行うと言うことで良いか。	<ul style="list-style-type: none"> ・国からの検証基準では、当面の目標約 1/30 での評価を求められている。資料では 1/50 から 1/100 の部分も書いているが、ここの評価は求められていない。 ・そうです。
○長期的に 1/100 にするときは、住民意見にもあったが、ダムが必要という認識なのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・下流の河道改修が約 4km 程、既にできており、それが約 1/30、約 2100m³/s となっている。 ・今の計画で上流まで進めていくと 2100 m³/s の河道改修に対して、例えば 1/50、1/100 の洪水をとった場合に流せない流量が出てきます。その部分をダムで調節するのが、現時点で持っている手法である。 ・ただ、このダム案がこれから先の段階でベストかどうかは、その段階で検証されるものと考えている。
○「地先の安全度」の評価で、1/50、1/100 と大きくなるときに、ダムがある案が効果あるのはどのような理屈か教えて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・単純に言いますと、第一ダムだけで 1000 万 m³ 治水容量があり、その分下流に流れてこないので氾濫流量が少なくなり、それで浸水家屋数が減っているということである。

<p>○ 地元の意見で地下水への影響が心配されている。その辺りも配慮しながら河道改修を進めると書いてあるが、具体的にどうするのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は洪水時に流れる時の断面を確保すれば、安全度を確保できるので、高水敷の部分を掘るということで、通常水の流れているところ（河床部）をさわらないことが一番効果的と考えている。 ・ただ、地下水がどう流れているか、十分に分かっていないので、調査を行いながら対応したい。
<p>○ 河道改修の方針のなかで、この前現地を見学したときに二線堤がずいぶん残っているのに、民地もありハードの対応は難しいかも知れないが、河川整備計画で位置づけられたら良いと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・流域治水対策の中で、二線堤や霞堤の保全はうたっており、効果を検証した上で保全を図りたいと言う基本的な考え方は持っている。
<p>○ 改修では、堤防に存在感があり、住民に見える形で進めるほうが良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な意見である。超過洪水が起こった場合、堤防が重要な役割を果たす。超過洪水が発生することを十分頭に入れて進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。
<p>「北川ダム建設事業ダム検証に係る検討結果」により、河道改修を先行して行く案が最も優位であるということで、まとめてよろしいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異議無し 	